

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

平成29年度決算報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

収支計算書（資金収支）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[4,666,000]	[4,665,115]	[885]	
基本財産利息収入	4,666,000	4,665,115	885	
特定資産運用収入	[10,000]	[6,520]	[3,480]	
特定資産利息収入	10,000	6,520	3,480	
会費入会金収入	[54,668,000]	[55,116,750]	[△ 448,750]	
正会員会費収入	51,418,000	51,666,750	△ 248,750	
賛助会員会費収入	2,600,000	2,700,000	△ 100,000	
入会金収入	650,000	750,000	△ 100,000	
補助金等収入	[69,520,000]	[68,650,000]	[870,000]	
日本財団助成金収入	69,520,000	68,650,000	870,000	
負担金収入	[8,772,000]	[7,704,400]	[1,067,600]	
一般事業負担金収入	3,231,000	850,600	2,380,400	
助成事業負担金収入	5,541,000	6,853,800	△ 1,312,800	
雑収入	[1,392,000]	[1,231,599]	[160,401]	
受取利息	10,000	699	9,301	
雑収入	1,382,000	1,230,900	151,100	
事業活動収入計	139,028,000	137,374,384	1,653,616	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[136,039,000]	[112,887,942]	[23,151,058]	
一般事業費支出	14,122,000	5,874,824	8,247,176	
(活性化対策)	(752,000)	(468,618)	(283,382)	
(調査指導事業)	(10,192,000)	(3,464,728)	(6,727,272)	
(刊行費)	(3,178,000)	(1,941,478)	(1,236,522)	
日本財団助成事業費支出	15,600,000	14,817,887	782,113	
(技術指導等)	(10,000,000)	(8,913,219)	(1,086,781)	
(アルミ電線)	(5,600,000)	(5,904,668)	(△ 304,668)	
その他事業費支出	106,317,000	92,195,231	14,121,769	
(役員報酬支出)	(21,990,000)	(21,700,813)	(289,187)	
(給料手当支出)	(49,947,000)	(42,292,629)	(7,654,371)	
(退職給付支出)	(7,141,000)	(7,089,854)	(51,146)	
(福利厚生費支出)	(12,352,000)	(10,424,804)	(1,927,196)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	(1,000,000)	(718,033)	(281,967)	
(支払報酬支出)	(930,000)	(678,151)	(251,849)	
(事務費支出)	(2,240,000)	(1,310,328)	(929,672)	
(賃借料支出)	(8,700,000)	(7,792,431)	(907,569)	
(支払手数料支出)	(2,017,000)	(188,188)	(1,828,812)	
管理費支出	[50,399,000]	[46,978,673]	[3,420,327]	
役員報酬支出	2,445,000	2,411,200	33,800	
給料手当支出	10,783,000	10,724,821	58,179	
退職給付支出	22,632,000	22,625,759	6,241	
福利厚生費支出	2,591,000	2,507,433	83,567	
会議費支出	2,695,000	2,128,273	566,727	
旅費交通費支出	1,448,000	408,252	1,039,748	
物件費支出	200,000	143,607	56,393	
支払報酬支出	186,000	135,629	50,371	
事務費支出	448,000	262,065	185,935	
広告宣伝費支出	240,000	120,960	119,040	
賃借料支出	1,740,000	1,558,484	181,516	
支払手数料支出	404,000	37,637	366,363	
渉外費支出	1,586,000	1,501,464	84,536	
諸会費支出	1,100,000	1,074,300	25,700	
租税公課支出	1,443,000	1,221,841	221,159	
雑支出	458,000	116,948	341,052	
事業活動支出計	186,438,000	159,866,615	26,571,385	
事業活動収支差額	△ 47,410,000	△ 22,492,231	△ 24,917,769	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	[36,950,000]	[32,171,317]	[4,778,683]	
退職給付引当資産取崩収入	29,773,000	29,715,613	57,387	
事業活動準備引当資産取崩収入	4,300,000	—	4,300,000	
設備購入引当資産取崩収入	2,877,000	2,455,704	421,296	
投資活動収入計	36,950,000	32,171,317	4,778,683	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[6,260,000]	[6,212,940]	[47,060]	
退職給付引当資産取得支出	5,260,000	5,212,940	47,060	
設備購入引当資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
固定資産取得支出	[2,877,000]	[2,455,704]	[421,296]	
工具器具備品取得支出	900,000	840,240	59,760	
ソフトウェア取得支出	1,977,000	1,615,464	361,536	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
投資活動支出計	9,137,000	8,668,644	468,356	
投資活動収支差額	27,813,000	23,502,673	4,310,327	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[563,000]	[—]	[563,000]	
当期収支差額	△ 20,160,000	1,010,442	△ 21,170,442	
前期繰越収支差額	20,160,000	20,586,473	△ 426,473	
次期繰越収支差額	0	21,596,915	△ 21,596,915	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払費用、仮払金、未払金、未払費用、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	28,778,621	30,925,071
未収金	2,100	—
前払費用	525,086	525,086
仮払金	181,520	149,940
合 計 (A)	29,487,327	31,600,097
未払金	132,832	2,362,781
未払費用	61,177	57,563
前受金	750,000	150,000
預り金	695,321	1,074,287
賞与引当金	6,717,024	5,868,851
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	474,500	419,700
合 計 (B)	8,900,854	10,003,182
次期繰越収支差額(A)-(B)	20,586,473	21,596,915

3. 科目間の流用及び予備費の使用等について

(1) 科目間の流用

以下の通り予算の流用を行った。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出			
旅費交通費支出	1,548,000	△ 100,000	1,448,000
諸会費支出	1,000,000	100,000	1,100,000

(2) 予備費の使用

なし。

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,925,071	28,778,621	2,146,450
未収金	—	2,100	△ 2,100
前払費用	525,086	525,086	0
仮払金	149,940	181,520	△ 31,580
流動資産合計	31,600,097	29,487,327	2,112,770
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53,975,200	53,975,200	0
投資有価証券	397,024,276	396,807,564	216,712
基本財産合計	450,999,476	450,782,764	216,712
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,181,281	46,683,954	△ 24,502,673
事業活動準備引当資産	14,930,000	14,930,000	0
設備購入引当資産	5,924,004	7,379,708	△ 1,455,704
特定資産合計	43,035,285	68,993,662	△ 25,958,377
(3) その他の固定資産			
工具・器具及び備品	840,510	295,708	544,802
ソフトウェア	1,476,581	451,480	1,025,101
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	3,920,103	2,350,200	1,569,903
固定資産合計	497,954,864	522,126,626	△ 24,171,762
資産合計	529,554,961	551,613,953	△ 22,058,992
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,362,781	132,832	2,229,949
未払費用	57,563	61,177	△ 3,614
前受金	150,000	750,000	△ 600,000
預り金	1,074,287	695,321	378,966
賞与引当金	5,868,851	6,717,024	△ 848,173
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	419,700	474,500	△ 54,800
流動負債合計	10,003,182	8,900,854	1,102,328

科 目	当年度	前年度	増減
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,181,281	46,683,954	△ 24,502,673
固定負債合計	22,181,281	46,683,954	△ 24,502,673
負債合計	32,184,463	55,584,808	△ 23,400,345
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	450,999,476	450,782,764	216,712
指定正味財産合計	450,999,476	450,782,764	216,712
(うち基本財産への充当額)	(450,999,476)	(450,782,764)	(216,712)
(うち特定資産への充当額)	()	()	()
2. 一般正味財産			
一般正味財産	46,371,022	45,246,381	1,124,641
(うち基本財産への充当額)	()	()	()
(うち特定資産への充当額)	(20,854,004)	(22,309,708)	(△ 1,455,704)
正味財産合計	497,370,498	496,029,145	1,341,353
負債及び正味財産合計	529,554,961	551,613,953	△ 22,058,992

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,665,115]	[4,665,130]	[△ 15]
基本財産受取利息	4,665,115	4,665,130	△ 15
特定資産運用益	[6,520]	[24,304]	[△ 17,784]
特定資産受取利息	6,520	24,304	△ 17,784
受取会費入会金	[55,116,750]	[54,558,900]	[557,850]
正会員受取会費	51,666,750	50,608,900	1,057,850
賛助会員受取会費	2,700,000	2,600,000	100,000
受取入会金	750,000	1,350,000	△ 600,000
受取補助金等	[68,650,000]	[69,128,000]	[△ 478,000]
日本財団受取助成金	68,650,000	69,128,000	△ 478,000
受取負担金	[7,704,400]	[7,489,100]	[215,300]
一般事業受取負担金	850,600	92,400	758,200
助成事業受取負担金	6,853,800	7,396,700	△ 542,900
雑収益	[1,231,599]	[1,452,384]	[△ 220,785]
受取利息	699	784	△ 85
雑収益	1,230,900	1,451,600	△ 220,700
経常収益計	137,374,384	137,317,818	56,566
(2) 経常費用			
事業費	[109,949,414]	[113,292,080]	[△ 3,342,666]
一般事業費	5,874,824	4,642,635	1,232,189
(活性化対策)	(468,618)	(806,907)	(△ 338,289)
(調査指導事業)	(3,464,728)	(1,722,281)	(1,742,447)
(刊行費)	(1,941,478)	(2,113,447)	(△ 171,969)
日本財団助成事業費	14,817,887	15,738,184	△ 920,297
(技術指導等)	(8,913,219)	(10,653,123)	(△1,739,904)
(アルミ電線)	(5,904,668)	(5,085,061)	(819,607)
その他事業費	89,256,703	92,911,261	△ 3,654,558
(役員報酬)	(21,700,813)	(22,246,578)	(△ 545,765)
(給料手当)	(42,292,629)	(43,711,133)	(△1,418,504)
(退職給付費用)	(4,151,326)	(4,468,275)	(△ 316,949)
(福利厚生費)	(10,424,804)	(10,805,938)	(△ 381,134)
(物件費)	(718,033)	(699,674)	(18,359)

科 目	当年度	前年度	増減
(支払報酬)	(678,151)	(646,667)	(31,484)
(事務費)	(1,310,328)	(1,260,814)	(49,514)
(賃借料)	(7,792,431)	(7,798,600)	(△ 6,169)
(支払手数料)	(188,188)	(1,273,582)	(△ 1,085,394)
管理費	[26,268,763]	[26,769,382]	[△ 500,619]
役員報酬	2,411,200	2,471,842	△ 60,642
給料手当	10,724,821	10,820,074	△ 95,253
退職給付費用	1,061,614	1,199,150	△ 137,536
福利厚生費	2,507,433	2,621,904	△ 114,471
会議費	2,128,273	1,826,512	301,761
旅費交通費	408,252	641,543	△ 233,291
減価償却費	854,235	1,067,055	△ 212,820
物件費	143,607	139,937	3,670
支払報酬	135,629	129,333	6,296
事務費	262,065	252,161	9,904
広告宣伝費	120,960	120,960	0
支払寄附金	—	100,000	△ 100,000
賃借料	1,558,484	1,559,719	△ 1,235
支払手数料	37,637	254,714	△ 217,077
渉外費	1,501,464	1,207,739	293,725
諸会費	1,074,300	969,500	104,800
租税公課	1,221,841	1,287,994	△ 66,153
雑費	116,948	99,245	17,703
経常費用計	136,218,177	140,061,462	△ 3,843,285
評価損益等調整前当期経常増減額	1,156,207	△ 2,743,644	3,899,851
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	1,156,207	△ 2,743,644	3,899,851
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[31,566]	[1]	[31,565]
経常外費用計	31,566	1	31,565
当期経常外増減額	△ 31,566	△ 1	△ 31,565
当期一般正味財産増減額	1,124,641	△ 2,743,645	3,868,286
一般正味財産期首残高	45,246,381	47,990,026	△ 2,743,645
一般正味財産期末残高	46,371,022	45,246,381	1,124,641

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[216,712]	[216,712]	[0]
基本財産受取利息	216,712	216,712	0
当期指定正味財産増減額	216,712	216,712	0
指定正味財産期首残高	450,782,764	450,566,052	216,712
指定正味財産期末残高	450,999,476	450,782,764	216,712
Ⅲ 正味財産期末残高	497,370,498	496,029,145	1,341,353

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

(a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

(b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

(a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

(b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

(3) 引当金の計上について

(a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

(6) 資産除去債務について

当法人は、本事務所オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,975,200	—	—	53,975,200
投資有価証券	396,807,564	216,712	—	397,024,276
小 計	450,782,764	216,712	—	450,999,476
特定資産				
退職給付引当資産	46,683,954	5,212,940	29,715,613	22,181,281
事業活動準備引当資産	14,930,000	—	—	14,930,000
設備購入引当資産	7,379,708	1,000,000	2,455,704	5,924,004
小 計	68,993,662	6,212,940	32,171,317	43,035,285
合 計	519,776,426	6,429,652	32,171,317	494,034,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,975,200	(53,975,200)	(—)	(—)
投資有価証券	397,024,276	(397,024,276)	(—)	(—)
小 計	450,999,476	(450,999,476)	(—)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	22,181,281	(—)	(—)	(22,181,281)
事業活動準備引当資産	14,930,000	(—)	(14,930,000)	(—)
設備購入引当資産	5,924,004	(—)	(5,924,004)	(—)
小 計	43,035,285	(—)	(20,854,004)	(22,181,281)
合 計	494,034,761	(450,999,476)	(20,854,004)	(22,181,281)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	3,351,211	2,510,701	840,510
ソフトウェア	4,503,804	3,027,223	1,476,581
合 計	7,855,015	5,537,924	2,317,091

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券は発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに対する管理体制

(a) 資産管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当会の資産管理規程により行っている。

(b) 信用リスク及び市場リスクの管理

債券の時価情報等について定期的に把握し、理事会に報告している。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
東日本旅客鉄道債 第39回	100,000,000	113,666,000	13,666,000
国債 利付国庫債券（20年） 第61回	19,867,480	21,096,000	1,228,520
東京都公債 第722回	99,994,661	103,940,000	3,945,339
国債 利付国庫債券（30年） 第10回	77,162,135	89,742,320	12,580,185
兵庫県公債 12年 第4回	100,000,000	104,690,000	4,690,000
合 計	397,024,276	433,134,320	36,110,044

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金	公益財団法人					
日本財団助成金	日本財団	—	68,650,000	68,650,000	—	一般正味財産
合 計		—	68,650,000	68,650,000	—	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

14. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 22,181,281
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 22,181,281

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	5,212,940
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	5,212,940

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,717,024	5,868,851	6,717,024	—	5,868,851
退職給付引当金	46,683,954	5,212,940	29,715,613	—	22,181,281

科 目	金 額	
その他の固定資産合計	3,920,103	
固定資産合計		497,954,864
資産合計		529,554,961
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 助成金精算払い分・社会保険料	2,362,781	
未払費用 コピーカウンター料・プロバイダー接続料	57,563	
前受金 30年度入会者入会金	150,000	
預り金 源泉所得税・住民税・社会保険料	1,074,287	
賞与引当金	5,868,851	
未払法人税等 法人住民税均等割額	70,000	
未払消費税等 消費税・地方消費税	419,700	
流動負債合計		10,003,181
2. 固定負債		
退職給付引当金	22,181,281	
固定負債合計		22,181,281
負債合計		32,184,463
正味財産		497,370,498

定款第44条第1項の規定により、平成29年度決算関係書類を上記の通り提出します。

平成30年5月1日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 柏 原 健 二 ㊞

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本船舶電装協会
会 長 柏 原 健 二 殿

私ども監事は、一般社団法人日本船舶電装協会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの業務について監査を実施いたしました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

監事は、理事会に出席するほか、協会事務局から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施いたしました。

また、当該事業年度に係わる貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

(1) 協会の業務について、法令、定款及び規則に従い適正に運用されているものと認める。

(2) 会計監査の結果

貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書は、協会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

(3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認める。

平成30年5月7日

監 事 鳴 釜 孝 光 ㊟

監 事 田 岡 一 樹 ㊟

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉